

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2024年11月分)

ご協力ありがとうございました。2024年11月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143 回答 139 回答率 97.2%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	9社	20社	48社	37社	25社	139社
	6.5%	14.4%	34.5%	26.6%	18.0%	
	(8.8)	(16.8)	(35.8)	(21.9)	(16.8)	
売上高	14社	15社	47社	40社	23社	139社
	10.1%	10.8%	33.8%	28.8%	16.5%	
	(10.2)	(13.9)	(36.5)	(22.6)	(16.8)	
在庫数量	6社	29社	67社	26社	7社	135社
	4.4%	21.5%	49.6%	19.3%	5.2%	
	(7.5)	(21.1)	(42.9)	(18.0)	(10.5)	
販売単価	7社	23社	66社	41社	1社	138社
	5.1%	16.7%	47.8%	29.7%	0.7%	
	(3.7)	(21.3)	(44.1)	(29.4)	(1.5)	
収益状況 (粗利)	7社	19社	55社	41社	17社	139社
	5.0%	13.7%	39.6%	29.5%	12.2%	
	(4.4)	(24.1)	(32.1)	(26.3)	(13.1)	
稼働率 (生産・加工設備)	3社	13社	56社	36社	12社	120社
	2.5%	10.8%	46.7%	30.0%	10.0%	
	(5.1)	(14.4)	(44.1)	(22.9)	(13.6)	
入出庫の トラック台数	1社	16社	62社	40社	15社	134社
	0.7%	11.9%	46.3%	29.9%	11.2%	
	(4.6)	(12.2)	(43.5)	(29.0)	(10.7)	
現在の 景況感	0社	8社	52社	53社	25社	138社
	0.0%	5.8%	37.7%	38.4%	18.1%	
	(1.5)	(4.4)	(37.8)	(37.0)	(19.3)	
3ヶ月後の 景況予測	0社	6社	87社	39社	6社	138社
	0.0%	4.3%	63.0%	28.3%	4.3%	
	(0.7)	(9.6)	(60.7)	(21.5)	(7.4)	
特記事項						

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②()内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

景況実感調査(2024年11月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置きます。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 店売りは引き続き荷動きが悪いが、ユーザー向けは好調をキープしている。中国材や電炉材の影響もなく、荷動きも良いので価格を下げる必要もないと考えている。
- ② 10月より落ちた。やはり荷動きは不透明感があり、一喜一憂しない方がよい。今年は、秋需はないと捉え一つひとつの引合いを大事にして受注率を高めたい。
- ③ 定量加工はあったものの、全般的に悪い。売上の日割りは前月並みであったが、前年比では売上も単価も下がっている。良い分野を教えて欲しい状態。
- ④ 店売りは需要低迷が継続。需要家向けは、一部で11月まで生産ピークの分野があり、店売り分をカバー。ただ、12月からこの分野も生産が半減するため、如何にスポット受注を拾っていくかにかかっている。
- ⑤ 11月は前年同月比横這いであり、今の水準がノーマルになったことを痛感する。今後は汎用品の価格競争に巻き込まれないように、質の高い商売に向き合いながら付加価値の付いた商売を増やしていきたい。

中板

- ① 中板は建築関連、建産機関連ともに需要の回復は見られず、引合いは各社とも小口当用買いに徹している。市況は弱含みじり安の傾向が続く。目先、大手電炉の安値玉入荷と輸入材の流入によりじり安は止まらなると予想され、当面は底値を探る展開が続くと思われる。

厚板

- ① <全体感>各分野にて低位横這いの状況となっている。紐付きにおいては、ユーザーの生産下方調整、建築関係も低調が続いている。また、店売りにおいても引合いは少なく、総じて荷動きは低迷。このような状態の中で、この先原材料価格が下がっていくことで、紐付き価格交渉も下げが懸念される。<分野別>建機、産機ともに生産調整の状況は変わらず、年明け以降の決算期需要に期待したいが、先行きは不透明。要因は販売面での苦戦が背景となっており国内、輸出ともに苦戦が続き、上昇の兆しは見られない。2025年度も今期比では減となる見込みが強く、当面は我慢の状況が予想される。紐付き、店売りとも全体的に需要が少ない中、物量を確保するのは非常に厳しく、コスト転嫁等の交渉も継続していくも難航が予想されて、厳しい状況が続く。
- ② 建設機械は国内、輸出ともに不調であり、減産調整が続いている。店売り関連は鋼材の高騰、人手不足等の影響があり、工事の延長等が続いている。
- ① 全体感では11月も低位横這い状態に変化なし。前月、若干あった橋梁物件も、また落ち着いてしまった。だが1カ月遅れで出てきた北陸方面の物件により、工場の稼働は維持した。特殊構造の建築免震を久し振りに受注。客先も仕事薄のため短納期発注であった。リサイクル系機械は大型機が増加の傾向にある。

— 舟安开金岡 ・ I-I 开金岡

- ① 荷動きは前年同月比も前月比もほぼ横這い。年末と不需要期の1~3月期をこれから迎える体制はできていない。更に販売先の信用不安も表面化しており、荷動き、市況面でも難しい展開となった。
- ② 11月は稼働日数による出荷減、日当たりは横這いという結果になったが、引合いは減少傾向にある。今後の需要動向に過度な期待はせず、引き続き慎重な仕入れに徹する。
- ③ 市場は相変わらず低調であり、回復の兆しはあまり見られない。市中価格は弱基調であるが、下げの速度が緩やかになってきたので、価格が落ち着くことに期待。
- ④ 来年は現場が少なく、出荷量が減ると予想する。

異形棒金岡

- ① 11月の動きは良かった。12月以降は少し鈍るだろう。価格は横這い。
- ② 当月も盛り上がりはなく、低調な状況が続いた。市況は在庫販売が横這いで、物件価格はじり安傾向が続いている。

平金岡

- ① 秋需は全く感じずに年末を迎えそうだ。中小物件が少なく、大口見積りも少ないため価格も思ったほど下がらず、来年後半に期待。
- ② 11月も悪い流れのまま過ぎ去った感じはある。店売りの定尺や社内加工も日々の細かい案件のみで、まとまって出荷する物件もない状態。社内加工も先々の案件の話は出て来ているが、年明け以降の話が主で、年内の納入案件は少ない。

車量开金岡

- ① 店売りが日に日に悪くなってきている印象。先行きも不透明で不安がつる。
- ② 年末までは現状にて推移の見込み。

金岡管

- ① 前月、前年比ともに売上は増加しているが、運賃始め諸経費の上昇により、収益は良くなっていない。市況は弱含み横這いが続いており、先行きも需給に大きな変化はないと思われる。
- ② 前月と状況に大きな変化はなく、首都圏の大型物件向けは動き出しているが、中小物件は納期遅れ(延期)、ストップが多く店売りの引合いは弱い。年内いっぱい、この傾向は続くと見られ、年明け、年度末向け出荷に期待するしかない。

構造用金岡

- ① 需要については、自動車関連は総じて低調。建機、産機も低調が続く。工作機械はまだ模様だが、総じて良くない状態。店売りは低位横ばいが続く。在庫は出荷量が増えず多めの状況。価格は、値下げしても販売増とはならないため、当面横ばいで推移しそう。

磨き棒金岡

- ① 自動車向け紐付き品は変動なく、低位の需要が続いている。建産機向けも同様に大きな変化は見られない。今期は現状のまま推移する見込み。

その他

<異形バーインコイル・ナマシ鉄線>

- ① 10月に続き「秋需」の気配がないまま12月に向かうところ。値上げの課題を残しつつ、既存先の維持も大きな課題である。

<スクラップ>

- ① 鋼材需要は不振が続き国内、海外マーケットともに不調。メーカーは大幅減産のため、スクラップの購入意欲は低い。スクラップ発生量が少ないことが相場を下支えしている状況。

<金属表面処理>

- ① 紐付き、物件物ともに予定通りの扱い量。一般スポットで短納期でまとまった量があり、高い水準であった。12月も同様に高位安定の予定。